

SDGsの取り組み



理事長挨拶

箕面市は、大阪府の北部に位置し、市の3分の2が山間地であり、国定公園、府営公園、近郊緑地地区の指定を受けている自然豊かなまちです。箕面市シルバー人材センターは、高齢者に対し、働くことを通じて福祉の増進を図ることを目的として、昭和56年10月に設立され、平成23年4月から公益社団法人として活動している団体です。

当センターでは、市内に居住する60歳以上の高齢者が、長年培ってきた経験や知識、能力などを活かし、自らの生きがいの充実や臨時的・短期的又は軽易な就業を通じて、健康・福祉の増進を図るとともに、センターの趣旨に賛同する企業、個人、公共団体等から有償で仕事を受注し、地域社会のニーズに対応することで、活力ある地域社会づくりに寄与しています。

また、「働く」「遊ぶ」「学ぶ」「社会貢献」の4つをテーマとして掲げ、これからの超高齢化社会の中、1人でも多くの高齢者が楽しく生きがいを持って暮らしていけるよう、高齢者のワンストップサービスとして活動してまいります。

公益社団法人箕面市シルバー人材センター

理事長 黒山 伊佐夫



01 センター概要

1. センターの目的

センターは、定年退職等において常用雇用ではなく、臨時的、短期的または軽易な就業を通じて、自己の労働能力を活用し、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者の就業機会の増大と、福祉の増進を図るとともに、高齢者の経験と能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としています。

2. 基本理念

シルバー人材センターの趣旨に賛同した地域に居住する原則として60歳以上で、健康で働く意欲のある高齢者が集まって作られた自主的な団体です。センターの運営するにあたり、一番大切なことは、会員の自主性や自発性が尊重されることです。

自主

自分のもの
として考え

自立

自分たちの
力で育てる

共働

協力し合って
働く

共助

お互いに
助け合う

3. 組織

センターは、会員を構成員として組織されており、会員の総意によって運営される高齢者の自主的な団体で営利を目的としない公益社団法人です。

4. 事業実績

① 設立年月日 昭和56年（1981年）10月30日（会員98名）
法人化 翌年2月24日（会員150名）
平成23年（2011年）4月1日 公益社団法人へ移行

② 会員数 1,361人（男性 928人 女性 433人）

③ 粗入会率 3.21%（会員数÷60歳以上の市人口）

④ 平均年齢 74.2歳（男性74.7歳 女性73.0歳）

⑤ 年会費 2,000円（別途互助会費1,000円）

⑥ 事務費率 配分金の10%

⑦ 事業実績 【令和2年度】

（受託事業）

・受注件数 3,258件
・就業延人員 90,250人

・契約金額 381,913,624 円
・就業率 66.8%（事業全体の就業率77.2%）

（労働者派遣事業）

・受注件数 177件

・契約金額 120,225,876円

（訪問介護事業）

・利用者件数 441件

・契約金額 10,179,990円

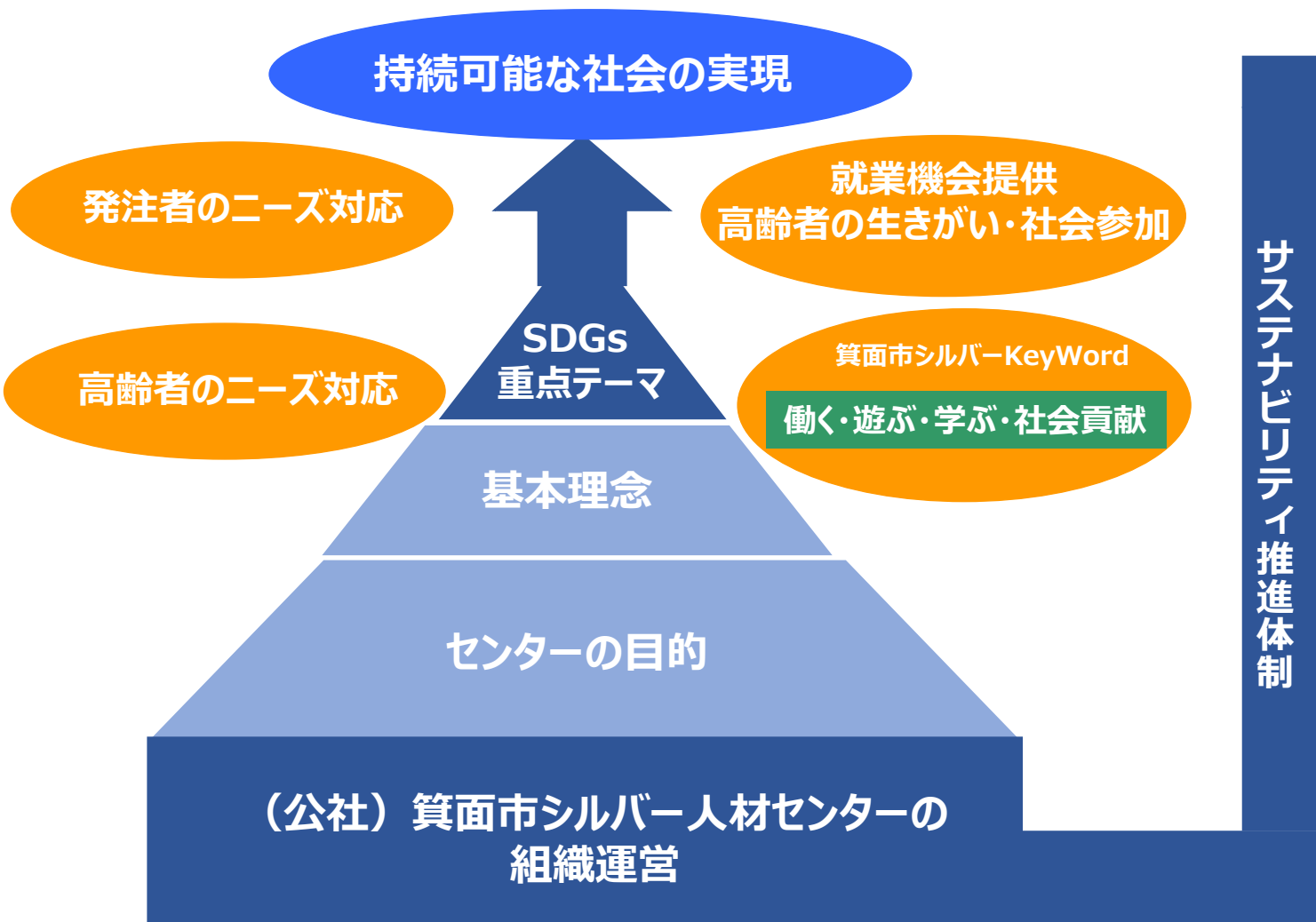
（介護予防・日常生活支援総合事業）

・利用者件数 621件

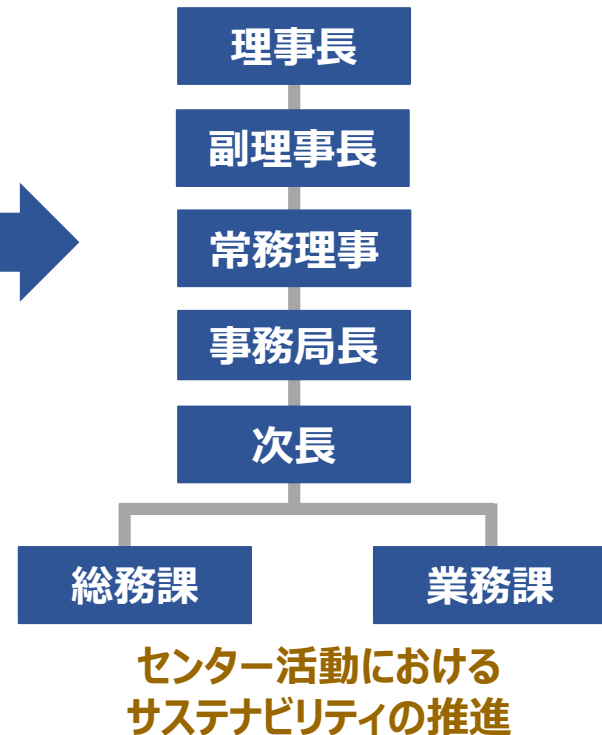
・契約金額 7,357,922円

02 サステナビリティへの取り組み

1. サステナビリティに対する考え方



2. サステナビリティ推進体制



サステナビリティ推進体制

3. レビューの仕組み

SDGsへの取り組み状況の年次レビュー

- 事業計画効果測定 (四半期)
→ PDCAによる測定

- センター活動による貢献状況報告 (年度)
- 達成度評価 (年度)



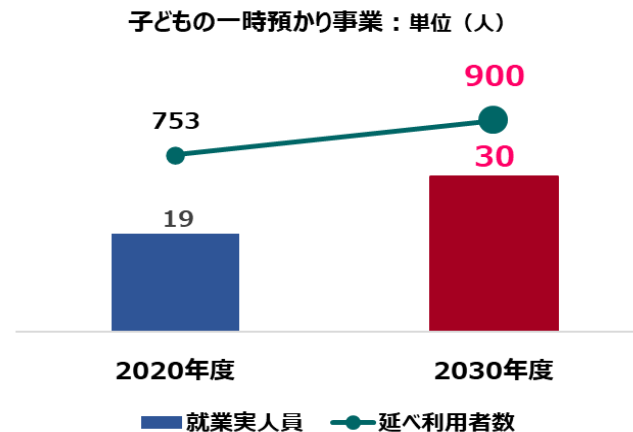
1. 子どもの一時預かり事業

箕面市では、「子育てしやすさ日本一」を目指し、保育所や幼稚園の増設をはじめ、子育て支援策に力を注いでおり、安心して子育てができる環境づくりの推進に貢献するため、豊富な知識・経験、資格を持った会員が地域における子育て中の世帯を応援するために、施設での子ども一時預かりや個人家庭での子守りなどを実施する。

① 子どもの一時預かり事業

就学前の乳幼児に対する子育て支援として、公共施設において、子ども一時預かり事業を実施している。開所日には、センター会員だけでなく、保育士を常駐させている。

- ・平成25年度より、「ちょこっと保育まみーず」を週2回（火・木曜日）実施している。
- ・平成28年度より、「ちょこっと保育あそびー」を週3回（月・水・金曜日）実施している。



② 子育てファミリーサポート事業

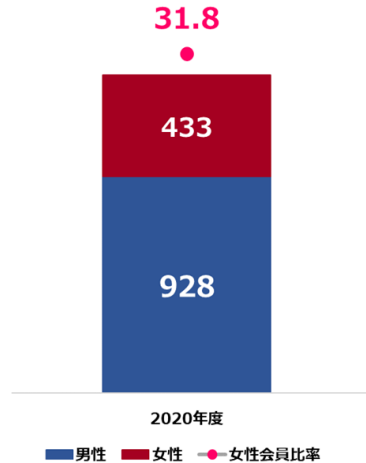
平成30年度より、「みのお・ファミリーサポート・センター」を設置し、コーディネーターを配置して、「子育てを応援してほしい方（依頼会員）」と「子育ての応援をしたい方（応援会員）」がそれぞれ会員登録を行い、子育ての援助活動を行っている。



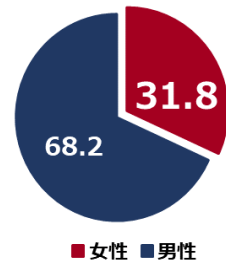
2. 女性会員のさらなる活躍に向けて

福祉家事援助サービス事業等を始めとする就業活動、サークル活動、ボランティア活動等を通じて、地域社会における人と人とのつながりを図りながら、センターと連携し、女性の視点と行動力を生かしたシルバー事業の展開を図っています。

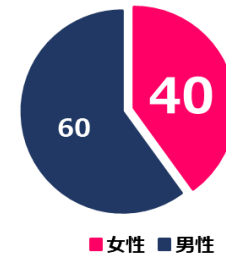
会員構成グラフ(人) & 女性会員比率(%)



2020年度会員男女比率：単位(%)



2030年度目標会員男女比率：単位(%)



① 女性会員の就業機会の拡大

- ・訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業
- ・子ども一時預かり事業（保育補助）
- ・福祉有償運送事業（受付オペレーター）

② 女性会「ひまわり」の活動について

- ・女性会員同士の親睦を深めるための活動（食事会、散策（花見）などのイベントの開催）
- ・健康の向上、知識の習得を図るための講座等の開催（美容教室、フラワーアレンジメントなどの講座の開催）
- ・センター事業、会員互助会事業への協力（イベント開催時における飲食ブースの出店、会員の憩いの場「ひまわり」の運営（月2回、ボランティア活動）





3. 福祉有償運送事業

箕面市が実施する「移動困難者の支援の社会実験」における福祉輸送利用促進モデル事業として、配車センターを設置するとともに、専用の福祉車両12台を使用して要介護者等で公共交通機関の利用困難な方に対する、有償の送迎サービスと市内在住の重度障害児の小・中学生の学校送迎を一本化して実施している。

※福祉有償運送事業とは・・・

福祉有償運送は、タクシー等の公共交通機関によっては要介護者、身体障害者に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合にNPO、公益法人、社会福祉法人等が実績の範囲内であり、営利とは認められない範囲の対価によって、乗車定員11人未満の自家用自動車を使用して会員利用者）に対して行う、ドア・ツー・ドアの個別輸送のこと。



4. ふれあい農園・体験事業

箕面市の景観をこれからも引き続き維持・存続させていくために、特に遊休農地や耕作放棄地の有効活用を促進するための取り組みの一環として、箕面市農業公社から耕作放棄地等を借用して野菜等を栽培し、収穫した野菜等をセンター事務所等にて、市民に対して安価で販売するとともに、収穫体験イベントを開催し、近隣の幼稚園や地域住民との交流を図っている。将来的には、収穫した野菜等を食材として、センター会員による飲食物の提供を行う「喫茶コーナー」や「子ども食堂」を運営することにより、地産地消、子どもの食育にもつなげていきたいと考えている。

